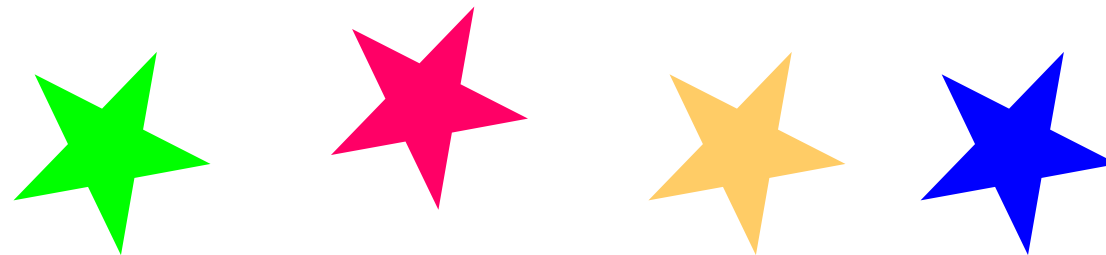


「エンデの遺言」解明プロジェクト
エンデ1 / エンデが言ったこと



5. エンデの思索のあと(2)

シルビオ・ゲゼル

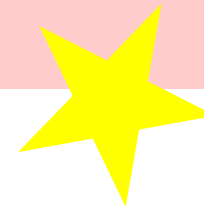
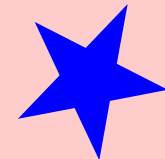


作:みほれみ

シルビオ・ゲゼル



- 実業家、経済学者
(1862年～1930年)
- 代表作「自然的経済秩序」
- アルゼンチンでの事業を機に、
貨幣の問題に関心を持つ。
- 「自由土地」、「母親年金」というアイデア
- 「スタンプ貨幣」(減価するお金)




「自由土地」、「母親年金」



- 自由土地

「土地はいったん国が全部買い上げて、国有化をし、その土地を使いたい人は、お金を出して、国から土地を借りるようになる」というアイデア。



- 「母親年金」

子育てをしている母親に、年金を支給するというアイデア。



「スタンプ貨幣」(減価するお金)

- 紙幣に、「一定の期間ごとに、一定額のスタンプ(印紙)を貼らないと、使用できなくなる」というルールのお金。
- お金を長く持っていると、たくさん印紙を買って、貼らなければいけなくなるので、お金をもらった時は、早く使ってしまった方がトクになる。

例えば、計算例

- 1000円札に、「毎月1日が来たら、50円の印紙を貼る」というルールの場合、20か月間(1年と8か月間)お金を持ち続けていると、合計1000円の印紙を買うことになり、使える金額は差し引き0円になってしまう。
- 印紙の売上は税金にして使う。



1000円

1か月经過、2か月经過、3か月经過、…
-50円 、 -50円 、 -50円 、 …